

## 日本商工会議所と東海ブロック商工会議所との懇談会（R1. 6. 20）

田中彩子副会長（鈴鹿商工会議所会頭）並びに  
榎本正一副会長（熊野商工会議所会頭）が三重県連を代表して発言

令和元年6月20日（木）岐阜グランドホテルにおいて開催された、日本商工会議所と東海ブロック商工会議所との懇談会へ岡本直之三重県商工会議所連合会会長をはじめ、県内の会頭、副会頭、及び専務理事等が参加しました。

今回の会議には、日本商工会議所正副会頭、東海ブロック（愛知・岐阜・三重）の会頭、副会頭、専務理事など約260名が参加しました。

懇談会は三村明夫日本商工会議所会頭、山本亜土東海商工会議所連合会会長の挨拶に続き、各県を代表した商工会議所から発言し、

三重県連は田中彩子副会長（鈴鹿商工会議所会頭）が「産業の継続的発展に不可欠な道路整備の必要性と期待について」とし、開通した新名神高速道路及び中勢バイパスの重要性について発言、榎本正一副会長（熊野商工会議所会頭）が「観光誘客、熊野ブランド認定事業について」とし、熊野が取り組んでいる観光誘客及び地元商材にブランド力をつけ、売り出す地域活性化の取り組み事例について発言しました。

日本商工会議所の各副会頭が、発言に対してそれぞれコメントし、最後に、三村会頭より、所見のコメントがありました。

また、懇談会終了後には、懇親会も開催され、参加者によるなごやかな交流が深められました。



▲挨拶をする三村日商会頭



▲三重県連を代表して発言をする田中会頭・榎本会頭▲